

令和5年9月8日

学校だより 「花里の子」

令和5年度 第10号

伊丹市立花里小学校長

小木曾 笑子

得意なところをさらに伸ばし、 苦手克服に向けて頑張ろう！ ～CRT調査（算数）の結果について～



本校では、子どもたちの学習理解定着や学力向上に取り組んでいます。子どもたちが学習指導要領に示された内容をどの程度理解しているかを調査し、その後の指導にも生かすためCRT調査を実施しています。本年度は、4月20日(木)に2～5年生を対象に算数の調査を行い、1学期の個人懇談で、個人の結果とアドバイス資料をお渡ししました。

学校でも各学年の結果を分析しました。分析の結果は、以下の通りです。

【観点別】

○「主体的に学習に取り組む態度」は、どの学年もほぼ参加校平均である。

▼参加校平均と比べ、どの学年も「思考力」に課題が見られる。

【領域別】

○「数と計算」領域において、多くの児童が頑張っている。

▼中学年の「かけ算」「分数」において、さらに習熟が必要である。

▼2年生と5年生の「図形」領域に課題が見られる。

【態度・資質・能力等】

○算数の学習に自信をもって、ねばり強く取り組んでいる。

○算数の学習に自分で目標を立てて取り組んだり、いろいろな解き方を考えたりできている。

▼「言語能力に関する問題」に課題が見られる。

▼「論理的・批判的な思考力に関する問題」に課題が見られる。



分析の結果から分かった「良かった面」や「課題となっている内容」について、「分かるたのしい授業」への授業改善に取り組みます。また、子どもたちが主体的に自分の苦手克服に取り組めるよう朝学習や家庭学習のもちかたを工夫していきます。ご家庭におかれましても、お子様が頑張っている点をほめて励ましていただくとともに、家庭学習の定着に向けての声かけと見守りをお願いいたします。

裏面に各学年の良かった内容と課題となっている内容、現在の取組をまとめていますので、ご覧ください。

CRT調査結果分析と課題解決に向けての取組について

	全体の結果	良かった内容	課題となっている内容	取り組んでいること
1年				<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を操作する等、実感を伴う学習を取り入れています。(お金・時計) ・音読計算に取り組んでいます。
2年	得点率は参加校平均とほぼ同じでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的に取り組む態度」は、参加校平均を上回りました。 ・自信をもって、ねばり強く学習に取り組むことができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・領域別では、「長さ、広さ、かさ」と「絵や図を用いた数量の表現」に課題が見られました。 ・言語能力を必要とする記述式の問題に課題が見られました。 ・算数で学習した内容を日常的課題解決に活かすことに課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業でも体験する等、実感を伴う学習を取り入れています。 ・(例)かさ：持つ→はかる ・授業の終わりに「ふり返り」の時間をとり、自分の学びを確認しています。 ・朝学習を活用して、教科の学習に使う言葉の定着を図っています。
3年	得点率は参加校平均とほぼ同じでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・どの観点もほぼ参加校平均並みで、バランス良く理解が進んでいます。 ・情報活用能力に関する問題は、参加校平均を上回りました。 ・領域別では、「表とグラフ」の理解がよいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別では「思考・判断・表現」の問題で参加校の平均を若干下回りました。 ・領域別では「数と計算」の「かけ算」に課題が見られました。 ・言語能力を必要とする記述式の問題に課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数に限らず、日々、言葉を意識した学習を心がけています。 ・文章題に出てくる語句に注目させ、「何を求めるのか」を意識して文章を読み、問われていることに的確に答えることの大切さを意識して学習しています。
4年	得点率は参加校平均とほぼ同じでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・どの観点もほぼ参加校平均並みで、バランス良く理解が進んでいます。 ・領域別では、「数と計算」において「分数」以外で参加校平均を上回りました。 ・主体的、対話的に学習することができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・領域別では、「数と計算」の「分数」と「測定・データ」の「表と棒グラフ」に課題が見られました。 ・「情報活用能力」と「論理的・批判的な思考力」に関する問題に課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業初めに3分計算を実施し、四則計算の定着を図っています。特に4年生では、「あまりのあるわり算」「小数・分数の計算」に力を入れています。 ・教科横断時に理科・社会でグラフからの読み取り、そこから考えられる活用方法を取り扱っています。
5年	得点率は参加校平均を下回りました	<ul style="list-style-type: none"> ・「数と計算」領域の「かっこを用いた式、四則の性質」において、参加校平均を上回りました。 ・「主体的に学習に取り組む態度」における全ての項目で、ほぼ参加校平均並みでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別では「思考・判断・表現」に課題が見られました。 ・領域別では、「数と計算」「図形」「変化と関係」において課題が見られました。 ・算数で学習した内容を日常的課題解決に活かすことに課題が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習を活用するなど、四則計算をはじめ、基礎的な力を高める練習問題に取り組む時間を確保しています。 ・日常生活とのつながりを意識して考えられるようにICTや実物等を活用した学習を取り入れています。
6年				<ul style="list-style-type: none"> ・6年間の学習を振り返り、基礎的な問題の復習を繰り返し、定着を図っています。 ・デジタル教科書や具体物を活用してイメージを広げたり、実際に操作したりする機会を設けています。



計算力は、繰り返し練習問題を解くことで伸ばすことができます。計算ドリルやミライシード「ドリルパーク」等を活用して定着を図りましょう。定着にかかる時間は、人によって違います。自分の目標を決めて、自分のペースで取り組みましょう。

また、学んだこと(インプットしたこと)に見える化すること(アウトプットすること)で、自分の理解を確認したり、深めたりすることができます。「解き方」や「理由」を説明することにも挑戦してみましょう。友だちや弟妹に教えてあげるのもよい勉強になります。

自分の未来を豊かにするためには、「学ぶ力」を身につけることが大切です。学校の宿題以外にも読書や自由勉強に計画的に取り組んでみましょう。まずは、「やってみる」ことからスタートです。失敗を恐れず、チャレンジしてみましょう。上手いいかないときは、計画を見直して、再度挑戦すればいいのです。自分に合った方法を見つけて『ぼちぼちいこか』ですね。

